

地域包括支援センターだより



(問い合わせ)地域包括支援センター
(役場 健康推進課内) TEL(62) 8222

久木野中学3年生への認知症サポーター養成講座!!

11月28日の土曜授業参観後、村地域包括支援センターによる、久木野中学校3年生へ認知症サポーター養成講座を行いました。初めに南阿蘇村の人口ピラミッドを参考に高齢者人口の増加や高齢期になると女性の比率が高くなる状況を紹介し、心身共に成長著しい思春期と、社会生活に一区切りをつけ、心身の減退を感じる高齢期の身体に違いはあるものの、変わり行く自身と向き合う部分では似ていることを考えたうえで、高齢期になると身体機能が低下するように脳の機能も低下し認知症発症。認知症の主たる症状は物忘れ、判断力、理解力の低下などあるが、その症状は生育歴、生活環境などで違いが出てくることを学習しました。その後、介護をしている方の気持ちを想い、認知症の方と接する時、誰にでも訪れる高齢期、いずれ自身も当事者になる可能性があることを踏まえ、偏見を持たず接することが認知症サポーターであり、特に中学生にできる認知症サポーター活動は、これから社会に向け飛び立つため、自分の事で精一杯となり、自身の祖父母を考える余力がなくなる可能性が出て来ることから、今の時期に祖父母と触れ合っておくことが認知症サポーターの活動の一つになることと学びました。



南阿蘇村商工会

◆第1回創業セミナー開催◆

11月13日(金)に村商工会の本所にて「第1回創業セミナー」が開催されました。「これから創業するにあたっての準備と心構え」をメインのテーマとする本セミナーには、村内より13人が参加されました。

講師には、中小企業診断士の本郷誠氏をお招きし、創業に向けての計画について、それに加え、事業者の方々が最も関心を寄せる「小規模事業者持続化補助金」についても講義されました。

最後には村内において新規創業をされた、「白水そば」の中津氏が事例発表を行いました。創業の動機・苦労したこと・創業して良かったことなどを赤裸々に発表され、参加者の方も食い入るように聞き入っていました。

◆南阿蘇村・高森町・西原村合同講習会◆

11月24日(火)にアソシエートにおいて、「マイナンバーと定年退職後の再雇用等について」をテーマに、3町村合同の講習会が開催されました。

講師には、社会保険労務士の染村二三男氏をお招きしました。

マイナンバーについては、マイナンバー制度の狙い、必要な手続きについてなどを分かりやすく説明されました。

村からは、商工会青年部の部長、副部長も参加され、「全く分からなかったマイナンバー制度の概要が理解でき、参加して良かった」と話を聞きながら、自社に置き換えて考えることができた」という声をいただき、有意義な講習会となりました。

